

【事業スケジュール】

区分	項目	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
都市計画	土地区画整理事業(未定)	→				
	開発行為(未定)	設計業者 選定 設計・開発許可申請	造成工事			
敷地	埋蔵文化財調査		→			
新庁舎建設	基本設計 / 実施設計	設計業者 選定 基本設計	実施設計			
	測量地質調査	測量 地質調査				
	建設工事 / 外構工事			施工業者 選定	→	移転
既存建物	解体工事	→				

※記載した内容は基本計画段階の検討案です。今後変更になる場合があります。

図総務課新庁舎等建設推進室 ☎ 286 - 3111



1 益城町公民館(中央公民館)
2 男女共同参画センター(輝らめき館) 3 地域ふれあい交流館(益城中央小学校跡地内)



□検討の対象とされた公の施設

対し11項目の付帯意見を付した答申書を提出しました。



町(中央)公民館
および講堂については、「益城町公の施設のあり方検討委員会」(熊本県立大学教授井田貴志会長)において、そのあり方を検討。3回の会議を経て3月23日、町長に

益城町(中央)公民館などの既存建物について

【答申】

- ① 3つの施設の機能は益城町にとって引き続き必要である。
- ② 3つの施設は1つの施設に複合化することが適当である。
- ③ 複合化を検討するにあたり、付帯意見に示す施設(ハード)の観点と利用者(ソフト)の観点から見た留意事項を検討すること。

【付帯意見】

□施設(ハード)の観点から見た複合化に係る留意事項

- 現代の社会的ニーズに沿った公共施設の検討
- 町の活性化につながる公共施設の検討
- 利用者数の増加が見込める施設の検討
- 建設にかかるコスト削減の検討
- 管理運用コストの削減検討

□利用者(ソフト)の観点から見た複合化に係る留意事項

- コミュニティ拠点としての多様な利用者への配慮
- 多世代交流が生じやすい環境の構築
- 施設機能がもたらす効果の最大化の検討
- 来場者が「新たな発見・出会い」を得ることができる環境の構築
- 活動団体間交流の促進
- 施設利用に対する弾力的かつ効率的な対応策の検討

図企画財政務課復興企画係

☎ 286・3223